

市長と語る タウンミーティング
テーマ「災害に強いまちづくり」

日 時 平成24年10月11日（木） 午後7時2分～8時51分
会 場 上福岡三丁目集会所（上福岡三丁目町内会）
天 気 晴れ

参加者 52人

主な意見等（◆・・・参加者 ☆・・・市長）

◆防災資機材等について、18団体にする支援とは。

☆各町会・自治会の防災用資機材の購入に対して補助をするものです。

◆財政状況が改善している。東洋経済新聞の住みよい街ランキングで、ふじみ野市が財政面で780数団体中の115位でよい位置にいた。評価されたのは借金できる余力があるとのことであった。安全安心の点では、150位までしか出ていなかったが、富士見市は115位でふじみ野市は出ていなかった。富士見市は、火災や交通事故件数が少ないようであった。

☆安心安全の基準にはいろいろあり、何を基準にして比較するかによって違ってくるので一概には言えない。例えば、本市の場合、犯罪件数が多いのは、大型店があるため万引きが多い傾向にあるため、富士見市には大型店舗がない。また、2市1町の中では、災害に対する対応に関しては本市が断トツであると考えている。

◆安全安心の観点から、ここから上福岡駅に向かう所の歩道が40m位斜めになっているため、雨や雪の日には滑ったりして危険。昨年盲人用点字ブロックを設置した時に職員に何とかならないかと言ったが改善されていない。早期に対応してほしい。

☆歩道の件に関しては、明日中に調査します。

◆職員に言ってもいつの間にか消えてしまっている。風通しが悪いのではないか。昨年の市報には、市役所は市民の役に立つ所と書かれていたがどうなのか。

☆風通しの悪さについては、私もそう感じているので、今それを変えようとしています。私はそのような姿勢で進めているので、嘘をついている訳ではない。ですから明日すぐに調査をします。国も政治家も行政も変わろうとしない。政治家は、言うだけなら簡単なことであるが、今まで中に入って変えようとして来なかった。しかし、申し訳ないと感じているが、敬老祝金を廃止させていただいた。苦情も多かった。私は、市の財政を家庭の財布と考えている。家庭の財布が厳しい時に贅沢をする人はいない。子供やお年寄りや病気などに使うはずである。政治は皆さんに喜んでもらうバラマキでは駄目だと考えている。職員数も合併時の800人を超える人数から666人まで削減し、10億円以上も

削減して今やらなければならぬことへの財源を捻出しています。当時、敬老祝金を廃止してなかったのは、本市と戸田市だけであった。また、ここで3年毎の介護保険料見直しで値上げをさせていただきました。これは、本来値上げしてもよかった平成21年、22年、23年を貯金を取り崩して凌いだため、値上げをしないで済んだため。また、65歳以上の介護保険料の負担より、若い40歳代の現役の負担の方が増えている。それを考えれば、今負担をすることは止むを得ないと思っている。本市の値上げ幅は、県内ではそれ程高くはなっていない。しかし、我々もまだいろいろと削っていく必要がある。よく言われることは、障がいのある方への部分が薄くなっていること。歩道の話も点字ブロックを設置する時に一緒に直すべきであった。

- ◆市民からすると財政がよくなって市民の負担が少なくなることがよいことだと思う。また、市長がよいことを言っても、市議会や実際に働く職員が市長の言うようにしなければよくなってはいかない。今まで何回も苦情を言ってきたが、改善されていない。市道にある水道の本管工事の時に、裏の家の水道管が自分の敷地を通っているので、市道に敷設替えをしてほしいと言ったところ、図面では市道内にあると言いき、現物を見てやっと納得したことがあった。また、空き地の雑草に対する苦情を持ち主の確認をしないで私の所に言いに来たことがあったり、その時に、苦情を言った人の個人名を言ったことがあった、守秘義務違反ではないのか。また、近所関係が悪くなるのではないのか。Jアラートの試験放送の時、待っていたが聞こえないので問い合わせたら「調子が悪いので」と言っていた。いざという時にはそれでは困るし、家の中でも聞こえるようにしてほしい。
- ☆個人名を挙げるのがダメであることは、当たり前のことであり、申し訳ないと思います。そういうことがあれば私が責任者であるので私に責任があると思います。それを1日2日ですぐには改善できるものではないことも事実です。しかし、それを一つ一つ変えようとする努力は惜しまずにやっているつもりです。私は隠すことはしない考えであり、納得のいかないことは納得するまでやるつもりです。
- ◆防災行政無線が放送の種類で聴き易いものとそうでないものがある。子供の下校時の放送は聴き易いが、警察や光化学スモッグの放送は聴き難い。また、音が反響して聴き難くなっている。ここで設備を新しくするのであれば、まず北向きを流したら次いで南向きを流すなどの工夫をした方がよいのではないか。
- ☆現在、旧大井エリアは一斉に放送が流れてしまうが、旧上福岡エリアは時間差で流れるなどの違いがあり聞こえ難いことがあったと思うが、今回の整備で流し方も改善し、設備も新しいものにしていきます。市役所が休みの日に警察から依頼があると、止むを得ずに警備員が放送することがあるために聴き難くなっていることもあり、今後は自動音声などを検討します。また、女性の声の方が聴き易いとか、音域の問題もあるのでそれも研究していきたい。
- ◆11月の避難所運営訓練の内容について。

☆ 1 1 月 1 日と 5 日に東西に分けて訓練を実施します。全市的に避難路を確認しながら避難所に行ってもらい訓練をします。参加者は地域にお任せしています。避難所の開設を市の地域指定職員、学校職員、地域選出の方が主体となり、運営訓練を実施します。1 2 月 2 日の防災訓練の予備訓練になります。今回は、ペットを連れてきた人、要援護者、怪我をした人などを避難所のどこに収容するのかを想定し、図面に落とししていく訓練をする。

◆東西とは。

☆旧大井と旧上福岡に分けて開催するために東西として日程を分けたものです。

◆通知は来るのか。

☆詳細は 1 0 月 1 6 日に説明します。

◆来週開催するとの通知が来たが、不親切な表示となっている。場所がサービスセンターホールでは、市民はそこがどこかわからない、仕方なく市役所に行って聞いた。文書の差出人名は市長となっているが、実際には危機管理防災課がやっていると思うのでしっかりやって、今後ないようにしてほしい。

☆今後気を付けていきたい。

◆特に年寄りにはコミュニティなどの片仮名はわかり難く混乱する。

☆今後は、住所を書くなどをしていきたい。

◆計画停電の時、同町内の道路を挟んで停電した場所としなかった場所があったが、なぜか。

☆計画停電は、エリアによるもので、東電の系列で決まっている。鉄道の関係もあったと聞いている。市でも停電する詳細な住所を教えてほしいと東電に掛合ったが、道で区切れるものではなく、隣同士でも線の系統が違っていると停電する所としない所に分かれるので示せなかった。それに関しては、市長を先頭に東電に相当なクレームを言った。今後の節電時には、示せるようにしてほしいことを申し入れた。また、清掃センターについては、停電で急に止まると温度管理が不能となり、ダイオキシンが発生し大変な事態となるので停電させないように申し入れをした。

◆本庁舎がかなり古く地震がきた時には逃げられないのではないかと。いつまでに改修が終了するのか。

☆平成 2 7 年度までには終了します。

◆防災メールを登録したが、防災行政無線の内容が送信され内容が把握できる。また、防犯や子供の関係のメールものあるのに、あまり市民に周知されていないのではないかと。若い人ならすぐに活用できるが、特に年配者に活用してもらえるように P R した方がよいのではないかと。そうすれば、防災行政無線の内容が聞こえなくても確認できるのではないかと。

☆あらゆる機会を通じて P R していきたい。

◆ 3 . 1 1 の時の映像をテレビで見たが、災害時に 6 6 6 人の職員がどのように集まれるのか。また、どのように援助を受けられるのか。

☆災害は、発生する場所や時間帯によって違って来る。平日か土日か、昼か夜か

深夜か、夏か冬かによって違ってくる。例えば、冬の北風が吹いている夕方の夕食時で火を使用し、暖房も使用していた時に、震度6弱の地震が発生したら立ってはいられない。その状況では火災が各地で発生する。水道管も耐震性のあるものに替えているがその率は52%です。水道管がだめになれば水が出ずに火は消せない。更には、消防車が現場まで来られないかもしれない。その状況の中、職員も家族の安否確認をしてから参集することとなる。今年の3月11日の時に実施した職員参集訓練では、徒歩、自転車、バイクを使用して、昼までに90%以上が参集できた。しかし、災害時にはもっと低くなると予想している。災害時には、市内在住の指定職員は直接避難所に駆け付けることとなっている。しかし、職員がその日に出かけていることも予想されるので、完全に想定することは難しく市で対応できる限界がある。自治会も同様で、災害時に役員が皆そろっているとは限らないので、そこに居る方が自主防災組織のメンバーではなくてもどうするかを話し合っておくことが必要です。まず基本になることは、自分の命を守ること。災害時には、まずは駐車場や畑など身近な所で自分の身の安全を確保してほしい。皆が駐車場などに集まったら近所の人の安否を確認し、助け合ってほしい。皆が避難所に逃げてしまうとそれができなくなる。そのようなことを想定して図上訓練を実施してほしい。地域で図上訓練を実施する場合には職員を派遣します。

- ◆火災が発生した時の経験では、通れる道はなく、まず目がやられて、次に気管がやられるので、まずは一時的な避難場所に逃げる必要がある。
- ☆避難所である学校の近くの民家で火災が発生すると、距離にもよるが校舎を超えて校庭まで炎が及ぶことがあるので、いきなり避難所である福岡中を目指すのではなく、まずは身近な安全な場所に避難してほしい。
- ◆福岡高校の今後の利活用について教えてほしい。
- ☆県の所有であるが、具体的なことは決まっていない。市でも検討し活用したい旨を県の教育局には言っている。しかし、無料とはいかないのでそれも念頭に入れる必要がある。また、当時この地域に学校がなく、地元の協力のもと2市2町が負担金を出して誘致した経緯があり、県から譲ってもらう場合その費用が発生すること、また、活用すると維持管理費も発生することから既存のものと置き換えられないかを検討している状況。
- ◆老人が使える施設がないのでお願いしたい。
- ☆もう一つ話したいことは、まずは自分で命を守る自助が7割、その守られた命で回りを助ける共助が2割、公助が1割と言われるのは、災害発生直後の重要度のこと。公助は当てにならないと思って備えることが必要。初動の72時間、3日間で支援が来ないことはないのですが、その間を凌いでほしい。また、遠隔地である栃木県の日光市、山梨県の甲斐市、長野県の飯田市とも災害時の応援協定を結んでいる。また、群馬県安中市とも協定を結ぶ予定となっている。皆さんには、お米は無くなってから買うのではなく、常に一定量があるようにしてほしい。また、可能であれば無洗米を備えてほしい。

◆家屋の転倒防止が必要ではないか。

☆阪神淡路大震災では、地震での揺れによる倒壊が多かった。建物や家具に足を挟まれて脱出できずに、火の手が迫って生きたまま亡くなった方が多くいました。その時にバールが1本でもあればテコの原理を使えば救出でき「バール1本で助けられた命」と言われている。まずは、自助として家具を固定するなどをしてほしい。また、床にガラスや瀬戸物の破片が散乱して避難できないこともあるので、枕元に靴かスリッパを用意しておいてほしい。ガラスに飛散防止シートを貼る、垂木を用意するなどお金を掛けずにできるものもあるので対策をしてほしい。そして、この話を井戸端会議の時などにいろんな人に話してほしい。